

通過すること
過ごすこと
知恵を共有する
そのような場所

過ごす場所について

居ることや在ることについて考えてきた。
表現をすることを考えていくと、たどり着く、樹海のようなところだ。
何回違うところから始めてみても、いつの間にか同じ山を登っている。しかも頂上なんて多分どこにもない。
居ることや在ることとともに、過ごすということを考えた。ちょうど、存在の概念に時間が不可欠であるように。

過ごすことができれば、居ることが可能になる。それ自身がそこに在ることを可能にする。

2、
物事は突然そこに表出するわけではない。それなりに事情がある。
細かい事情は置いとかないと物事は進まないけれど、細かい事情を取り残して進むのは全身がちくちくしてとても悲しい。それぞれのそれなりを消費してどんな巨人を育てるというのだろう。

通過する展覧会①：
「作業をしています」



February 24th 2021

13:00 - 19:00

過ごす / センター / 家 / AIR
601-8107 京都市南区上鳥羽
南唐戸町 121-4
最寄駅：十条駅（近鉄）